

宝塚市政記者クラブ各位

宝塚市無形民俗文化財「西谷地区のちまき」が 文化庁 100 年フードに認定されました

多様な食文化の継承・振興への機運を醸成するため、令和3年（2021年）から文化庁が取り組んでいる「100年フード」に西谷地区のちまきが認定されました。

1 認定概要

- (1) 認定日 令和5年3月3日
- (2) 認定区分 伝統の100年フード部門～江戸時代から続く郷土の料理～
- (3) 認定基準
 - ①地域の風土や歴史・風習の中で個性を活かしながら創意工夫され、育まれてきた地域特有の食文化
 - ②地域において、世代を超えて受け継がれ、食されてきた食文化
 - ③その食文化を、地域の誇りとして、100年を超えて継承することを宣言する団体が存在する食文化
- (4) 応募数 令和4年度は90件の応募のうち、基準を満たした70件が認定
※認定フードの一覧は別紙一覧参照

2 西谷地区のちまき

市北部の西谷地区ではナラガシワとヨシの2種類の植物で包む珍しい作り方が今もなお受け継がれており、作ったちまきは仏壇や神棚、荒神に供えるほか、贈答の習俗など地域に根差した食文化となっています。令和2年（2020年）には、市無形民俗文化財に指定しました。

3 ちまき食文化の継承に向けて

食の多様化や少子高齢化により、西谷地区においてもちまきの作り方や伝統を知る人が減少しています。そうした現状の中、西谷地区まちづくり協議会が中心となって、ちまきの食文化を継承するためにさまざまな活動が行われています。また、伝統的なちまき作りの調査研究や後継者の育成を目的として、平成30年（2018年）には西谷ちまき保存会が設立されました。保存会では、毎年6月上旬ごろにちまき作り体験を開催するなど、西谷のちまきを後世に受け継ぐ活動を続けられています。



4 問い合わせ先

教育委員会社会教育課 TEL：0797-77-2029（直通） 担当：野木